

<p>【イベント名】 第50回 APAN 会議 公衆衛生</p>	<p>【概要】 公衆衛生セッションは、「バングラデシュでの雷による死傷について」、「若年性高血圧の危険因子について」、そして「バングラデシュの医学生におけるうつ病について」の3件の発表で構成された。それぞれの発表はライブで、互いに議論しながら行われた。会の進行は、Gobinda Kanti Paul医師により行われた。</p>
<p>【期日】 2020.08.06</p>	
<p>【会場】 マイメンシン医科大学 (バングラデシュ), シレット MAG オスマニ医科大学 (バングラデシュ), ランプル医科大学・病院 (バングラデシュ), バングラデシュ研究教育ネットワーク (バングラデシュ), クスティア医科大学 (バングラデシュ), クワジャ・ユヌス・アリ医科大学・病院 (バングラデシュ), M アブドゥル・ラヒム医科大学 (バングラデシュ)</p>	



マイメンシン医科大学の様子。

撮影場所：九州大学病院



ランブル医科大学・病院の様子。

撮影場所：九州大学病院

Literature review

A cross-sectional study was conducted in Bangladesh on medical students from 2 public and 6 private medical colleges in 2014. No particular statement was made about the prevailing depression among those medical students [Eva et al, 2015]

In Bangladesh, the first national survey on mental health conducted between 2003 and 2005. It documented that 16.1% of the adult population had mental disorders.

In that survey depression was found in 4.6% among the adult population of Bangladesh. [Hejal, 2017].

The prevalence of stress in medical students: 35%

16.1%

4.6%

提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院

DISCUSSION

▶ The study results revealed that mean age of the patients was 38.7 years with a SD of 7.8 years. Among the patients male were 189(58.7%) and 133(41.3%) were female

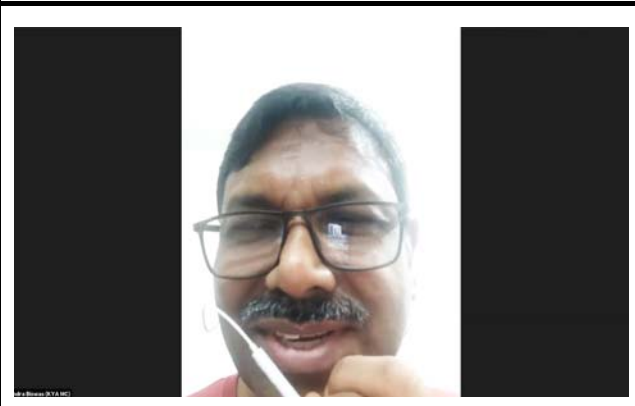
提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



Mアブドゥル・ラヒム医科大学から参加する医師。

撮影場所：九州大学病院



クワジャ・ユヌス・アリ医科大学・病院から参加する医師。

撮影場所：九州大学病院